



第2回交流会の開催日決定！

テーマ「つながって→ひろげる」

障害者団体ネットワーク推進事業（平成29年度小牧市市民活動助成金交付事業）の第2回交流会は「つながって→ひろげる」をテーマに開催します。

それぞれに活動している団体がつながって、自分たちの思いをよりひろげることができるようになればと思っています。

まずは交流会でお互いの思いや活動を伝え合いましょう。

日時：平成30年**1月20日**（土）午後

場所：ふれあいセンター3階大会議室

参加費：無料

※詳細が決まりましたら、チラシ・HPなどでご案内します！

平成29年度小牧市市民活動助成金交付事業

「誰もが暮らしやすいまちをつくろう」 （第1回交流会）

日時：平成29年10月14日（土）
13:30～16:10（開場13:00）

場所：小牧市東部市民センター講堂

参加費：無料

内容：第1部 玉木幸則さん講演
テーマ「誰もが暮らしやすいまちづくり」

第2部 交流会

パネラー 古木茂代さん（小牧市難聴・中途失聴者協会会長）
丹羽千里さん（パパママサポートあおぞら代表）

コメンテーター 玉木幸則さん

進行 山中和彦（ここぼりこまき）



講師 玉木幸則さん

企業の新入職員研修で「障害者差別解消法」をテーマに講義をしました

7月6日（木）住友理工株式会社小牧製作所本社で行われた新入社員研修において、ここぼりこまきが「障害者差別解消法」をテーマに講義を行いました。この研修は、毎年新入社員のみなさんが社会貢献活動の一環として、小牧市内の知的障害者施設や老人介護施設においてボランティア体験をされており、その体験活動の前に行われる講習会の中で講師を務めました。

「支援者のための成年後見制度研修会」を開催しました

8月17日（木）、ふれあいセンター3階大会議室において「支援者のための成年後見制度研修会」を開催しました。これは、2014年度から毎年ここぼりこまきが取り組んでいる事業で、今回は小牧市以外に岩倉、犬山市、扶桑町、大口町から介護支援専門員や相談支援従事者、看護師、保健師、事業所職員、行政職員など70名ほどの参加がありました。

前半は、「成年後見と市町村責任について」の講義をここぼりこまき代表の山中が行い、後半は尾張東部成年後見センター長の住田敦子さんによる事例検討会を行いました。6・7人のグループで事例について意見交換を行い、類型の見方や申立てを誰が行うことが望ましいか、また経済的虐待の見方などを学び合いました。参加者からは「様々な職種の見方での意見交換ができて良かった」「身近にありそうな困難ケース事例で勉強になった」などご意見がいただけました。



▲後半のグループワークで、事例検討ケースをもとに、課題の洗い出しと解決策について話し合う参加者のみなさん。

高齢者と障害のある人のための「なんでも相談会」を開催しました

10月8日（日）小牧市公民館の学習室で、弁護士・司法書士・社会福祉士など法律や福祉の専門職がチームで相談に応じる、高齢者と障がいのある人のための「なんでも相談会」を開催しました。この相談会は、あいち権利擁護ネットワークが、原則偶数月の第2日曜日に愛知県司法書士会館で開催している無料相談会で、今回ここぼりこまきとの共催で初めて小牧で開催しました。

ゆっくりと相談していただけるように時間制限をしておらず、そのため予約も受け付けていないため、どのくらいの方が相談に来られるか当日までわかりませんでした。市外から相談に来られた方もおられ、急遽相談スペースを増やして対応する場面もありました。



ここばりこまきは、障害のある人のことをできるだけ多くの人に知ってもらい、障害のある人への心の壁を取り除くことをめざして活動しています。今回はうれしかったエピソード2を紹介します。

【ここばりこまきのやさしいまち】は、ホームページでもご覧いただけます。みなさんからの投稿もお待ちしております。

ブログ <http://blog2.kokobari-komaki.net>

小学校の低学年から定期的に歯科受診し、虫歯予防をしています。当初自閉症であることを話したところ、治療を始めるにあたり何をするか器具を見せて説明してくださったり、無理強いせずできるところまで少しずつ進めてくださっています。

【子供・自閉症（知的重度）】

地域の小学校に通い、1年生から2年生の1学期まで付添いで登校していましたが、徐々に自力登校できるように手を離していく中で、同じ分団の保護者の方が同じような視線で、娘の登校を見守ってくださいました。親からはなかなか頼みにくいことです。低学年の間いつも気にかけてくださり、本当に心強く感じました。【子供・知的軽度】

子供が騒いでいるときに周りの冷たい視線が気になるけど、口にしないでいいので、心の中で「頑張っているね」「応援してるよ」とつぶやいてくださると助かります。その時の視線はとてもやさしく感じられると思います。【子供・自閉症】

街を歩いたり、電車やバスに乗るときに、「手伝いましょうか？」と声かけをしてくれる時、助かります。

【おとな・脳性麻痺】

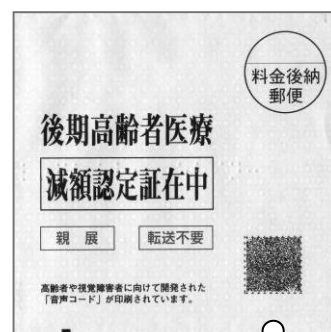


気になるコトバの豆知識

★ 音声コード (Uni-Voice)

約2センチ四方に細かい模様が記され、その中に記録された約800文字が、音声で出力できるというものです。音声を取得するには「視覚障害者用活字文書読み上げ装置」が必要で、一部の携帯電話やスマートフォン向けのアプリを用いて聞くことができます。専用ソフトを使えば誰でも簡単に作ることができ、点字に比べるとコンパクトに持ち運べるという利点があります。

▼小牧市の健康福祉部介護保険課認定係から届いた封筒に印刷されていました。



音声コードが印刷されていることがわかるように、切込みを入れることになっています。

UD トークの勉強会に参加しました

10月7日（土）午後1時から、ふれあいセンター2階視聴覚室で行われた愛要連主催のUDトークの勉強会に参加しました。UDトークとは、音声を認識して文字に変換する機能を持ったソフトで、スマートフォンやタブレットにアプリを入れることで、聴覚障害のある方とのコミュニケーションを図ることができるツールです。

勉強会では、講師の羽田野芳裕さん（岐阜音声認識支援研究会）の解説のもと、実際に会話をしながら使い方を学びました。話し方によっては誤変換が生じるため、ハッキリゆっくりわかりやすい発声で話す必要があることなど、利用する際に意識すべき点がありますが、グループ（複数）で会話ができたり会話の内容をメールで送って記録に残せたりと、便利な機能があることを実際に使いながら学びました。

研修会「大府市高齢者・障がい者虐待防止センターの取組」に参加しました

10月8日（日）午前10時から、公民館学習室3の2において、大府市高齢者・障がい者虐待防止センターの取組について、同センター長の土井郁代さんよりお話を伺いました（あいち擁護支援ネットワーク主催）。

通称「スピカ」の名で親しまれている同センターは、福祉・教育の複合施設である大府市ふれあいサポートセンター内に設置。高齢者・障がい者の虐待事例への対応のほか、高齢者・障がい者虐待防止等連絡協議会の開催や、出前講座による啓発活動など、さまざまな取組の現状についてお話いただきました。



▲約30名が参加して行われた研修会

第40回福祉展に参加します

10月21・22日（土・日）小牧市公民館で開催の「第40回福祉展」に、今年もパネル展示で参加します。同展には、市内で活動するさまざまなボランティア団体や福祉施設が出展。ステージ発表のほか体験ブースやバザーなど楽しい催しもあります。市民祭りと同時開催のこのイベント。お出かけの際には、ぜひお立ち寄りください。

編集後記：UDトークの勉強会では、同じ目的をもった他の団体の方と一緒に学びながら交流できたことにとても意義があったと感じました。参加のきっかけは、第1回交流会（10月14日開催）にパネラーとして参加いただく古木さんからの誘いを受けてのこと。第2回交流会のテーマに掲げる「つながって→ひろげる」、まさにこれだなと思いました（ひ）

ここばりこまき 2017年10月号
〒485-0811

小牧市光ヶ丘1-1 アクシス光ヶ丘4-403（山中）

FAX 052-308-6867（インターネットを利用したFAXのため名古屋市外局番になっています）

メール mail@kokobari-komaki.net ホームページ <http://kokobari-komaki.net>

ブログ <http://blog.kokobari-komaki.net> フェイスブック <https://www.facebook.com/kokobari.komaki/>